

2月定例会は2月28日に開会し、3月23日に閉会しました。当初予算9件、補正予算8件、条例19件（うち委員会提出2件）、一般4件、人事2件の計42議案を可決（同意を含む）しました。請願は賛成多数で趣旨採択しました。

令和5年度の一般会計当初予算は前年度に比べ6億円増の1,046億円となりました。

## 令和5年度の重点取組

「リッチ・ローカル 佐賀市」の実現を目指し、令和5年度のチャレンジとして、「3つの『新しい』を実行する」を掲げる。

1. 「新しい“暮らし”を構想する」
2. 「新しい“人”を巻き込む」
3. 「新しい“体験”を創る」



## 令和5年度の予算

### 背景

- ◆ 社会保障関係経費の増加が見込まれる中、地方が地域社会のデジタル化や脱炭素化の推進など様々な行政課題に対応しつつ、行政サービスを安定的に提供できるよう、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、前年度と同水準を確保することとされている。
- ◆ 経済状況については、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いている。その一方で、原材料価格の上昇や円安の影響等によるエネルギーや食料価格の高騰など、地域経済を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。
- ◆ 健全な財政運営に配慮しつつ、限られた財源を最大限に活用し、佐賀市の未来を“共創”するため、「3つの『新しい』を実行すること」をはじめとして、市民が豊かさを実感できるまちづくりに資する予算編成を講じている。

### 令和5年度の予算規模

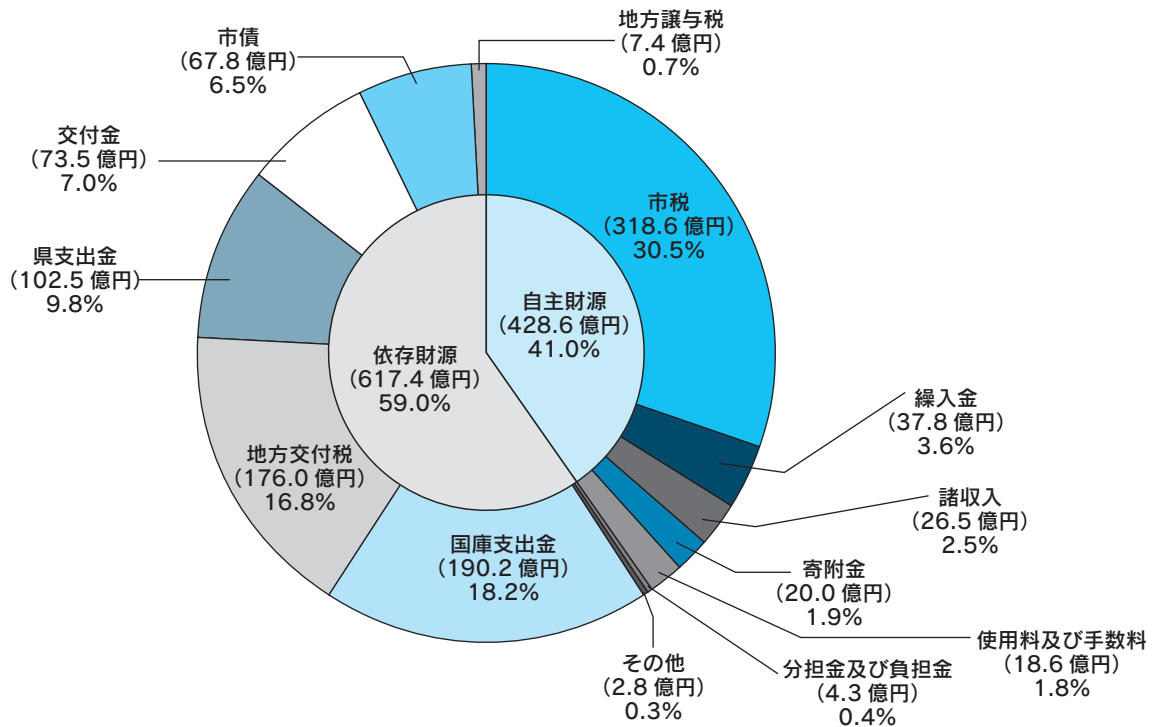
会計		予算額	増減(前年度比)
一般会計		1,046億円	6億円(0.6%)
特別会計	国民健康保険	264億7,900万円	3億3,300万円(1.3%)
	国民健康保険診療所	1億2,800万円	900万円(7.6%)
	後期高齢者医療	38億3,800万円	1億7,700万円(4.8%)
企業会計	自動車運送事業(市営バス)	12億2,500万円	1,300万円(1.1%)
	水道事業	71億4,100万円	△3億8,800万円(△5.2%)
	工業用水道事業	3,000万円	1,200万円(66.7%)
	下水道事業	152億8,200万円	△18億900万円(△10.6%)
	富士大和温泉病院事業	19億2,800万円	2億2,500万円(13.2%)

※ 端数処理のため、増減率が一致しない場合があります。

# ◎令和5年度当初予算一般会計の状況

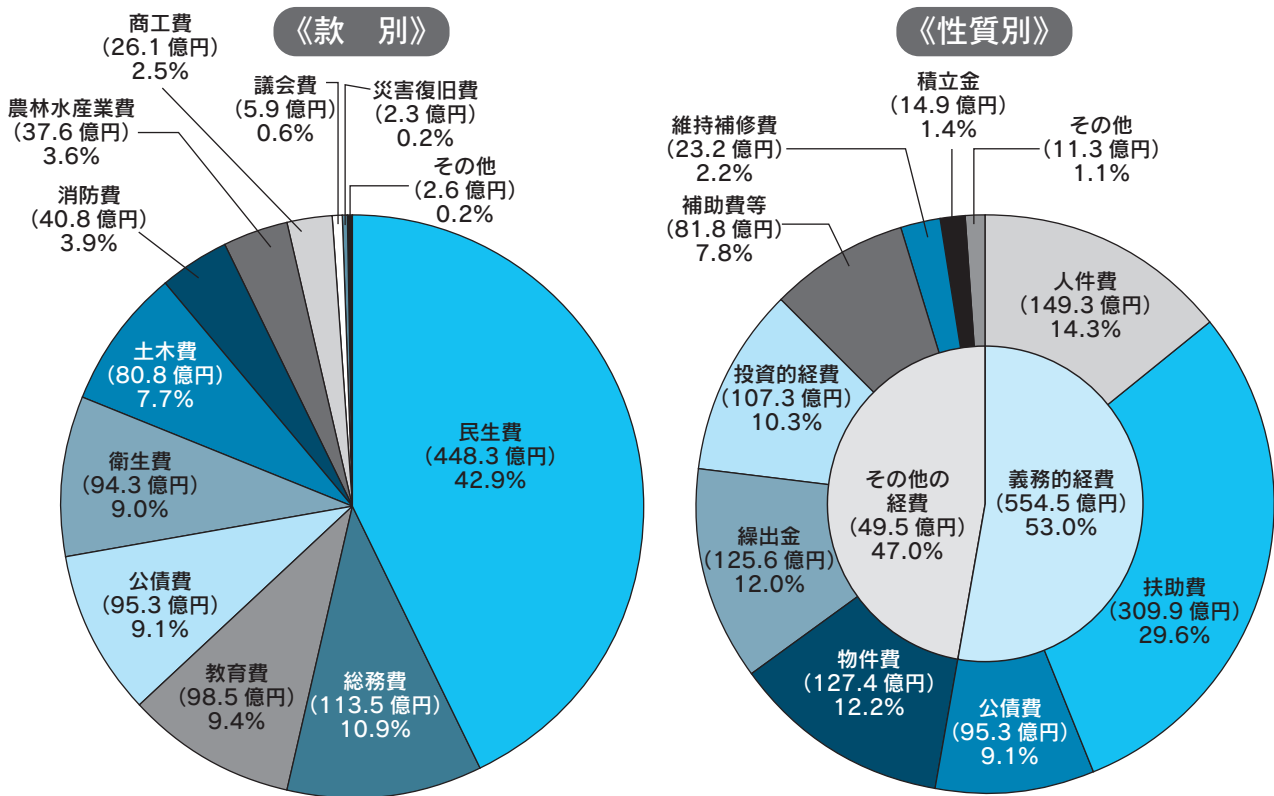
## 【歳入】

〔歳入総額 1,046億円〕



## 【歳出】

〔歳出総額 1,046億円〕



※端数処理のため構成比が一致しない場合があります。